

令和4年度 鳥獣被害対策技術情報 第4号

(令和4年10月19日)



今後の鳥獣被害対策

(自家用果樹及び未利用果樹、いちご)

福島県農林水産部農業振興課



集落にカキやクリ等の未収穫の果実があると、野生鳥獣を呼び寄せてしまいます。自家用のカキやクリ等で、果実を食べきれないほど樹が大きい場合、縮伐するなどしましょう。また、未利用果樹は伐採しましょう。

今後、収穫を迎えるいちごでは、例年ハクビシンによる被害が見られます。ハクビシンは栽培施設の小さな隙間からも侵入するため、①地面との隙間、②ビニールのたるみや破れ、③天窓、換気扇やハウスサイドの隙間等を点検・対策して、侵入防止に努めましょう。

1 自家用果樹及び未利用果樹の管理

自家用として植栽しているカキやクリ等は、近年、十分に管理されていないことが多く、残った果実は野生鳥獣を呼び寄せてしまいます。集落周りに自生する野生のクリやクルミなども同様です。

自家用として植栽している果樹は、果実を食べきれないほど樹が大きい場合、農閑期の秋から春にかけて手の届かない部位を縮伐するなどして、十分に管理できる樹体に整理しましょう。また、未利用果樹は伐採しましょう。

2 いちごの被害対策

冬期間は、ハウス内でハクビシンによる被害が見られます。ハクビシンは夜行性で、甘いものが大好きです。中でもイチゴは好物です。ハクビシンがハウス内に侵入するパターンは次の3つが多いことから、よく点検し侵入を防止しましょう。

①地面との隙間から

ハクビシンの頭骨の高さは6 cm以下で、5～6 cm程度の隙間があれば侵入できます。出入口をはじめ小さな隙間をよく点検しましょう。

② ビニールを破いて

ビニールに小さな穴が開いていたり、たるみがあるとハクビシンは噛んで侵入できる大きさに破きます。ビニールは破れを補修するとともに、たるみなく張りましょう。

③ 天窓、換気扇やハウスサイドから

ハクビシンは登ることが得意なことから、天窓、換気扇やハウスサイドの隙間からも侵入します。天窓、換気扇やハウスサイド周りも隙間をよく点検してください。

ハクビシンなどの中型動物は、電気柵を地面から10cm間隔で3段（各段ともプラス通電）張り、柵の内側に支柱を利用しネットを設置すると、飛び込みなどの侵入が少なくなり、被害が軽減できます。また、埼玉県が開発したネットと電気柵を組み合わせた侵入防止柵「楽落くんライト」（<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0909/shin-c-houjuugai.html>）を活用すると、侵入防止効果が高まります。

なお、廃屋や神社仏閣、住宅や倉庫の屋根裏、野積みされた樹木などの中に棲みつくことが多いので、ほ場周辺にそれらがある場合は注意が必要です。

クマに関する情報

県北地方振興局 <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01210a/kuma.html>

県中地方振興局 <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01220a/kumamoku.html>

県南地方振興局 <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01230a/tsukinowaguma.html>

会津地方振興局 <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01240a/kumatyuui01.html>

※クマとそれ以外の動物の痕跡の見分け方（『会津地方におけるツキノワグマ対策』）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/48263.pdf>

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報（生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報）をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>